



## 女性への配慮

- 更衣室を設置した場合には、カーテンの設置や利用時間(男女別に時間を決めて利用)の設定などのルールを話し合いましょう。
- 仮設トイレは、全体の何割かを女性専用のトイレとし、夜間にトイレ周辺を重点的にパトロールするなど、女性にとって安心して使えるトイレ環境にしましょう。
- 女性専用の洗濯場所や洗濯機の設置、物干し場の確保について検討し、女性が安心して利用できるようにしましょう。
- 衣類や生理用品、薬など女性が必要とする物資で男性から配布されることに抵抗のあるものは、女性の担当者から配布できるようにしましょう。
- 女性の専用スペースには、女性用品を常備しましょう。
- 女性の声を拾うための意見箱の設置を行うなど、女性の多様なニーズを把握できるようにしましょう。



## 感染予防

- 手はせっけんと水で洗うか、消毒用アルコールで消毒しましょう。
- 外出後の入室時には手洗いとともに、うがいをしましょう(とくに屋外での作業後には入念にしましょう)。



- せきやくしゃみをするときはハンカチかティッシュなどで口を覆い、ティッシュはゴミ箱に捨てましょう。
- 熱やせき、くしゃみの出ている人、介護をする人はマスクをしましょう。
- 食器やコップをはじめ洗面道具、かみそり、歯ブラシやタオルなどを共有しないようにしましょう。
- ゴミは生活区域から離れた場所に集めましょう。

## 防災 記入チェック欄

### 自動車での避難生活について

車の燃料は常に「満タン」を習慣に!

災害時には自家用車による避難や車中泊を行う場合があります。その際、燃料が不足していると移動だけでなく、エアコンやバッテリー充電といった車ならではの便利な機能を生かせません。燃料は半分かくらいになったら補給を心がけ、常に満タンにしておく習慣をつけましょう。

エコノミークラス症候群の対応も大切!

自動車を活用した避難生活は利点も多くありますが、狭い空間で長時間同じ姿勢でいると血管の中に血のかたまりができ、最悪の場合死亡する危険性があります。自動車などで避難生活を送る場合は、こまめに水分をとり適度に運動することが大切です。

